

オンライン研修 参加者募集

研修期間：平成24年11月22日（木）～平成25年3月2日（土）
 場所：公益社団法人香川県看護協会（高松市国分寺町）
 研修費：13,000円
 対象：県内の離島・へき地などで医療機関に従事する人、または従事を希望する人で、看護師資格取得後5年以上の実務経験を有する人。eラーニング（インターネットによる学習）を受講できる環境にある人。
 特徴：・研修はeラーニングを中心に、集合研修、実地研修で構成。
 ・eラーニングは自宅で繰り返し学習できる。
 ・地域医療、看護に携わる専門性の高い講師が学習を支援。
 ・最新の医療情報ネットワークシステム（ドクターコム、K-MIX）を使った実地研修を行う。
 問い合わせ先：同協会 ☎087-864-9070

療を提供できるようにになります」と、同病院の久保文芳院長。特区の認定を受けて、今後、本格的な運用を目指します。

訪問看護の専門家を

通院が難しい人にとって、訪問看護はなくてはならないものです。今年11月から、ドクターコムを活用して訪問看護を実践する「オンラインブナース」の研修が始まります。

研修を実施する公益社団法人香川県看護協会の渡邊照代会長は「高齢化に伴い、へき地や島

特集2

三方を海に囲まれ、24の有人離島を有し、各地にへき地が点在する香川県。病院や薬局が身近になく、公共交通機関の整備も十分でないことから、医療機関への通院が困難な人もいます。こうした課題解決のため、県は国に申請し、平成23年12月に「地域活性化総合特区」に指定されました。独自に開発した「ドクターコム（電子カルテ機能統合型テレビ会議システム）」などを活用して、へき地や島しょ部を中心とした地域医療の充実を目指しています。

かがわ医療福祉総合特区



ICT活用で遠隔診療

町立内海病院（小豆島町）は、20年度からドクターコムによる遠隔医療モデル事業を行っています。ドクターコムとは、医師が病院にいながら、パソコンに搭載したカメラを通じて在宅患者の映像を確認し、診察室内と同じように診療が行えるシステムです。看護師が端末を持って患者宅を訪問し、患者の様子を報告。院内の医師は患者の映像と、検査結果や診療情報などを確認しながら診療を行います。

「訪問看護を行う場合、これまでは事後報告に基づいて、その後の治療計画を立てていました。ドクターコムを使えば、離れた場所においてもリアルタイムでの診察が可能に。看護師からの報告に映像と音声加わることとで判断材料が増え、よりその人にあった医療を提供できるのも薬局の利点ですね」と、同法人の安西英明代表。ニーズに応じて、薬剤師が患者宅に調剤薬を届け、服薬指導することも可能です。



久保さん



渡邊さん

しよ部に限らず、県内全域で在宅ケアのニーズが増えるのでは。病院での勤務と違い、訪問看護は一人の判断に任せられることが多い。ドクターコムがあれば、ケアに当たる看護師はもちろん患者さんにとっても、心強いですね」と話します。

研修では、ドクターコムの操作方法のほか、超音波検査やインフルエンザ検査の方法も学びます。看護職のスキルアップとともに訪問看護の幅の広がり、離職者の復職も期待できそうです。



かつての保育所を活用し、地域の拠点に

地域の健康見守る 薬局

11月末、さぬき市の多和地区に開設予定の「へき地薬局」は、住民や医師の要望に応えた新しい形の薬局です。

同地区にへき地診療所は

あるものの、薬局がなく提供できる医薬品が限られていました。自動車の運転ができません。一般的な医薬品や、マスクなど衛生用品の買い物も難しい状況です。そこで立ち上がったのが、社団法人香川県薬剤師会の有志「NPO法人へき地とあゆむ薬剤師」を設立し、診療所の診察日に合わせて薬局を営業します。

「薬局ができると、扱う医薬品の数はこれまでの倍以上に。診療所では医師と看護師が多く、薬剤師がいないと調剤と服薬指導などを専門に行えます。一般的な医薬品と衛生用品を



安西さん

安心して暮らせるまち

高度医療機器の導入のほか、屋上へリポートやがん検診センターの統合など新しい機能を備えた新県立中央病院。26年春の開院を目指し、準備は万全です。また、ドクターコムの運用やへき地薬局の開設で、島しよ部やへき地でも都市部と同様の医療を提供できる環境づくりが進んでいます。医療の充実で、誰もが笑顔で安心して暮らせるまちへ。

問い合わせ先
 医務国保課 ☎087-832-3319
 薬務感染症対策課 ☎087-832-3299